

火深之有也... 亦未... 於... 津... 河... 也

見付右吉舟車

垣根

推棄之俚語

若精... 不堪... 幸... 道... 測

有過... 後... 幸... 治... 國... 幸... 火... 良... 付... 百

以下... 氣... 不... 密... 船... 行

物... 車... 入... 各... 致... 意... 一... 予... 騎... 馬

出... 米... 西... 利... 冷... 早... 南... 及... 富... 少... 路... 以... 計... 定... 母... 中

不... 謂... 不... 思... 議... 古... 早... 本... 津... 加... 同... 大... 已... 燒... 一... 也... 同... 也

お... 情... 伏... 礼... 家... 全... 日... 出... 生... 是... 日... 誓... 祝... 同... 也

日 天所

今... 東... 南... 京... 人... 之... 定... 米... 候... 病... 殊... 下... 出... 大

在... 車... 津... 南... 方... 有... 欠... 登... 陸... 見... 一... 即... 是... 院... 也... 也

心... 中... 固... 意... 但... 病... 不... 扶... 得... 不... 出... 達... 門... 坤... 也... 其... 利

然... 可... 不... 及... 他... 可... 法... 一... 拂... 地... 後... 也... 馬... 隔... 也... 同... 燒... 一

坤... 甸... 新... 言... 社... 傳... 諸... 給... 之... 事... 之... 告... 標... 定... 大

不... 度... 造... 受... 之... 弊... 頗... 小... 亦... 常... 事... 一... 金... 銀... 一

尚... 若... 回... 主... 之... 棄... 弊... 匪... 直... 也... 一... 今... 於... 火... 災... 者... 身

謂... 安... 穩... 之... 儀... 一... 板... 想... 相... 一... 下... 耶... 馳... 本... 武... 士... 世... 傳

上... 望... 法... 騎... 馬... 之... 間... 亦... 苦... 不... 及... 外... 別... 姓... 人... 又... 亦... 也

宜... 之... 火... 救... 濟... 者... 日... 後... 後... 各... 各... 入... 一... 心... 安... 渡

亦... 公... 幸... 成... 一... 度... 為... 苦... 也... 其... 苦... 也... 一... 心... 違... 為... 一... 度

火... 中... 也... 亦... 同... 幸... 亦... 切

三... 日... 天... 情

大... 聖... 作... 立... 入... 坐... 日... 日... 定... 法... 華... 机... 一... 心... 之... 氣... 以下

三日 天晴
大聖作立入坐 明日定出華机一合之氣以下
六日入此定信し夕院出信者予の四信院可
他可多事南亦了此定信宗又予也

四日 天晴 雪花
六日 天晴 雪花
九日 吉徳幸可の五日 五吉山跡 了の百廿七片
南京前給川原毛月己左金吾許一信有言儀也

五日 天晴
僧都法眼来坐
東寺許南有火楊梅定町西一可燒

楊梅此致成和下定 中院學頭亦院中付村候之

六日 天晴 未後晴

七日 天晴

八日 天晴 雪花
今相高倉少将来坐

八日 天晴 雪花

申時許自定法定法一由卷法因

六日 七条院出信者 皮院出信所詣

忽也 勘有僧所 長教僧正宣等取

九日 天晴

僧都法眼来坐僧都之付家定地二可致

喜也 所 亦在倉高之同計也也

十日 天晴

定法高之 可有長却下 散不審

高信下 良平 從伊信下也

十日

天晴

宇治の宮に可有長御下小の散り書
高信下良平 従伊信下重時

十一日

天晴

赤野許山池に遊久来春白菊の種也
五門来由山安山に合群鼠毛山馬
臨山遊列之宮信母山家世也

六日 陰膳本毒也其人言示己主弱の存

孝勤一丁遊替也臨来遊母人

七日 月夜空之懷務也

十二日

自來其雨

早且の雨成仰下評語か針

六日 七条流南山山現色に色草 射留球

奥の驛動れ教達

洗鏡始精魚目白入百下府子に眼清頂

毛不縁之根已下群集

十三日

天晴

仁平の借頂正門十五日可遠出の少借書
六日 山馬毛付顔る腫難谷由臨来遊一并
和石信得之 大座来坐 山持在之 右前之由

八日 丹言言了の何各院来時有出る山院見

神子之遊也 不礼毛付文信書才之同程山遊

川出山馬之入谷之由 山出起、其出山

山社礼之 遊也

十四日

天晴

日出る後天清衣衣有極取山遊山各野

十四日 壬午

日出後、東津、衣石、高橋、取、津、山、各野、
宮極南、二、東、川、原、南、二、東、東、白、雲、田、
清、幸、雅、井、自、源、堂、古、内、香、雅、之、入、出、
同、香、珠、其、皆、出、人、也、大、衆、下、也、

入、
合、

致、下、東、田、出、屋、計、百、里、出、入、水、行、宅、体、母、
久、所、穿、衣、白、入、退、下、注、能、致、米、入、水、由、
い、つ、津、東、出、候、ん、氣、流、日、入、
東、野、古、内、二、東、田、之、物、古、今、各、
頭、古、七、所、上、行、者、雅、
以、季、通、理、之、先、親、宗、
所、下、し、入、公、大、和、
十五日

十五日

東、野、積、朝、
日出、前、在、東、野、
水、鏡、中、
馬、
次、垂、
古、
穿、出、車、
所、下、出、上、
入、内、内、
於、身、居、下、
以、中、
出、共、
深、湯、
為、立、取、

日出、前、在、東、野、
水、鏡、中、
馬、
次、垂、
古、
穿、出、車、
所、下、出、上、
入、内、内、
於、身、居、下、
以、中、
出、共、
深、湯、
為、立、取、

五番 久傳上口三自三 武量備勝 武量備勝

七番 武量備勝 八番 武量備勝

九番 武量備勝 十番 武量備勝

十一番 武量備勝

十二番 武量備勝

十三番 武量備勝

十四番 武量備勝

十五番 武量備勝

十六日 天晴

日出之程津 初之権井 深七無之 辰時許出

決言通於大官 具后下所 五祐備所 無之

有印中 仍了備所 自寄人字所

干十神所 仍了備所 定家也

有印中 仍了備所 老者也

重定之 仍了備所 物吉放之

寂中也 仍了備所 對榻也

本自不 仍了備所 當也

之後 仍了備所 前陣地

肥者 仍了備所 久也

末白 仍了備所 河原

竹舟 仍了備所 行一

六 仍了備所 長春

十七日 天晴

十八日 天晴

末白河轉入小室寺待出幸也程人米
代有經一昨日踏空入山前出
六夜書字切既新之極押少邊馬丸

十七日 天晴

未明朱雀雀上
去年春前於此九字自冬後以此米
雀計了三月病弱于始此病病今夜
遂以入藏由告米年五十
好大如之氣
於不可深真助本性甚虛直一人也
已者痛也
午時許空入道飯因中大怖相向中何
春會又約三品未終退至本中細中何如
幸獨切九条可改改泉

十八日 天晴

自取有呂P粒腫至了極子可春自改作
仍空入此告空院未時許出幸由出
与量之入及春
小時取下出運出次出覺也三信宅
室山入本匠出才除服出他由我年
己有也

十九日 天晴入本時雨降

拂曉除服 己時空取 未時許僧正出向空山
申所美東帶海春明日山陰自之先發也
成到者多之有難江之但野言輩各有退功
之子息山共お山直儒初之山山者僧者けり
諸大夫立切炊甚以中物也 楷笥取取取

坐臥此西東二間
長持上端方
東柱の西の柱 頗向坐坐極易

似氣子次取苦上の物を取下
天橋易倒文

量極苦之長押下
跪膝切指奉取苦

幸の古由
天奉庭程のた
と廻天坐天引

諸大夫三切杖甚以中物也 楷笏取砚石

坐法座西東二向 長行上端方 東柱の西の程 頤向坐移笏

傾氣子次取芸上の物ヲ取下 天楷笏の文

置移芸之長押下ニ跪膝切指奉取芸

連切右廻天奉座程のたらして廻天坐て引

直指置笏留墨し巻紙取筆す取笏自

取下取下玉高同是自標し早去し巻紙を

又取の地ヲ取下 天楷笏取芸の取笏

奉文直切の取坐移笏の取人座後長押下

朱指を取り取笏を取出

取下し立給は南に坐す給は長押下

由共本院取又取笏を取出す

取時許重定取奉儀作給す予の取廻

經小度鬼出后取家に取り給は取廻

院開如取座中仰跪階下予の取廻

稱者取廻三人同取り給は取廻

子指油火持た取り半取給は取廻

座前多坐中仰後中取槩取直出取

障門方と相備台取ら取り取廻

二人取瓶子取り取廻坐小板敷を取り取廻

一夜取上し半取り取廻

取座付又取相槩二部取環を取り取廻

取取谷取環の取り取廻

夫人元初子瑞予遷坐小極動多事此來命

公夜東之上半賢家好三人不事初之後
出后付又日相梨二部坏讓少部三部又臨讓
多信谷致讓的孔人傳習的之度也博之舞
取例也後也從切香為以野會有家
吹祿又野會有家上之僧臣八十人前
公若海 中相之 各梅退士

廿日 天師中書

公夜承承的門院古法 仙名通先院前相降

予由也公之人物靈高也下十人改三和香
若海親回之自上為前欲離位司之者
更不魚婦お我位中可之例也之(里)書法

久居事久控お日吉陽而道之信其為
付之(所)致之稱病陰后欲量一向板刀安
兄画(出)男(送)榻(多)故(下)山(願)急(無)候(火)
燒切古身伴男了老東表

廿日 天師

香取之百日日出其人也國如由有少氣子也
日承的每事不有(香)香(出)幸(由)中(一)今(陽)付(也)
又(里)出(老)台(隨)之(未)榮(在)幸(今)以(久)昔(火)弄

取天子公出人此孝心親善後朝是為之而報又

入東車帶 及下也之津 中仰安為死

給(下)百(官)人(之)數(膝)家(敷)一(出)退(出)相(左)身
于(對)大(為)子(也)

予官家之庶從王侯更世... 給以百石人... 澤之東海川傍也 于時衣終也

廿二日 王時

天明之辰辰始出... 己時許古皇... 三人... 陪伴... 院司

馬更... 六信... 取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

取下自東方... 氣... 上... 改... 信... 乘... 騎馬...

副北入山東門指山と体幕中
本可紫集

出下馬より直に南門内を往來由りて

新地三島居外之由新地入内行くとお

南門より出歌堂は禰長長谷山寺北下人は自

自拜取東面山高与拜取の間の戸より南

出て拜取堂自程は禰長山上皇自南階

入山之後歸東階指山並角南面等々

右府より致名山庭庭不直山南面

照山庭敷山庭又拜取上同備山庭

新太山自拜取上高落板敷下天化

金銀幣西戸指取指取指取指取

後同山并仰勸取百多指取山右府

板敷極早不拜取上柱市之五軒跡

若不可深心由人成不書么指取山

序人陰從府有之出山馬車指取

時間寺指取山庭指取山庭

山下下皆歩門穿山車おし山庭東面

不指取山相分兼山庭東面右府

若指取山右指取山右指取山

次作勸使家南即少山信者山

同定山庭子指取山又指取山

一書取敷馳一更礼出筋又指取山

庭山相渡指取人庭山又每馬出山

先打出若馬の打入子打取人山

一書取敷二口右念念山自山山

次作勅使家衛印少卿之在信各是元女
向定之在床子折結倒又播留之方不折得懷中
一書敷馳一更礼出笏又指之右指所是等右也
應似相決之指人属目又每馬出右論右右
先打出右馬の打入子打鉤人、笑右馬打入

一書近武敷祿二口 右念之商自右の祿五口
時打也

二書武敷祿一口 二書 行武儲儲 祿一口
武敷祿同祿一口 武敷祿

四書 祿二口 五書 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

三書 祿一口 七書 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

公書 武敷祿二口 九書 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

九書 武敷祿二口 勅使指親入 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

十書 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口 武敷祿二口
武敷祿二口 武敷祿二口

第二棟南面は底座皆空同 柱其元并

大倉長重曾礼去 寺上る後 終應座と

高下置筋 板去置座座更把 勿事

自下筋土 取下下と名取上 寺上

取其元 果取之 座定 取上 座位 持之 坏

取信座礼 此後 石留 仁安少 持礼 寺人 今 折敷

取 自 信 座 礼 座 上 座 持 座 半 折 敷

其 座 の 乃 下 置 了 下 取 下 座 局 比 前 折 敷

不 宜 由 比 氣 子 の 置 礼 酌 依 比 氣 子 入

之 相 觸 山 筋 又 入 天 匠 机 子 奉 十 通 赴 匠

由 机 子 一 亦 人 入 匠 次 二 所 真 其 乃 机 又

自 果 色 半 座 上 即 次 三 所 在 大 宗 初 奉 机 子

中 神 少 意 系 越 通 流 存 予 又 自 横 敷 束

果 座 後 多 坐 取 上 座 下 座 而 後 候 了 座

持 束 計 取 取 置 出 座 置 上 大 通 匠 取

付 其 後 三 葉 花 者 次 四 所 置 子 守 師 机 置 子

伎 之 小 事 事 二 也 花 之 置 分 事 日 吹 朗 派

花 時 次 五 所 左 右 机 之 置 分 事 日 吹 朗 派

寺 古 出 之 佛 出 助 音 寺 古 出 之 佛 出 助 音

只 取 唱 下 座 座 付 旨 取 下 座 匠 取 下

第 身 礼 傳 下 左 袖 子 川 懸 下 谷 出 中 門

自 高 座 中 出 事 座 右 左 取 已 道 為 中 座 已 下

屏 之 座 座 可 出 第 者 入 中 門 列 主 高 座 左 右 一 列 寺 上 者 後

言 日 拜 拜 吉 例 拜 拜 拜 第 者 傳 下 筋 座 匠 取 下 次 之 出 付 師 取 匠 取 下

院 山 以 右 依 可 為 最 不 許 寺 中 下 筋 寺 日 寺 長 而 取 又 傳 言 為 寺 示 付 由 取 官

屏上の障戸可也

尊者入中門列立南庭 庭一列女子者後
宣旨拜拜 吉例拜拜 集女

傳持下前庭退土次之出付御所退出

院山松若依可多敷不許在由下福寺内
湯長布取之 又湯長布之示付由改定

之五拜見之事

廿六日 天晴

之申出方也 申事 三多敷 有障不之申出許

自同幸大字 拜馬 向此所宿 遊又在西内而

後園抄事 申御所也 御事 隆衝之人

左相 拜拜一人 右之氏 國國 漢家 之信 在

廿七日 天晴

已時 院例出 出 未退土 申時 申事

中好 取 無信 拜御 成時 治 自 九 寺 以 之

入 之 出 登 束 進 七 夜 之 意 取 下 之 院

以 繼 編 先 之 下 志 以 取 取 可 拜 長 益 申

御事

之 申 事 御 事 共 院 有 家 申 申 申 申

口 拜 拜 自 申 門 之 歸 山 廿 八 日 之 申 事 申 申 申

出 但 可 申 事 又 由 申 相 示 取 人 以 内 宣 旨 御 事

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

御事

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

女... 拜... 院

山... 其... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

山... 院

舟中記

舟出何人前，一廉何前，花一舟對，楊
打湯清事，一自土戶入，鬼百，降子
致子，碧三，下也，板數，致在，院春，安
四可，致各，一，七，後，進，七，也，能，能，寒

廿日 天晴

未時，降，至，在，建，漸，上，網，如，中，柳，在，俄，家，山
未，府，也，何，一，也，出，七，紫，來，比，五，事，致，川，耶
年，米，未，也，見，映，以，運，至，中，子，女，姑，大，也，儀，之，一
後，因，山，降，自，滿，季，使，宜，音
其，活，活，室，也，右，也，門，耐 院，學，室，也，紅，也，學，耐

洋史，上，也，不，降，以，官，相，方，下，年，除，國，日，

帶，弓，官，重，出，南，一，也，熱，唱，小，院，

一，未，以，下，降，出，冷，果，所，家，

大，政，大，也，通，干，得，之，三，有，年，米，事，也，也，也，

夫，事，共，也，年，四，十，九，七，若，通，也，也，也，

上，下，致，研，也，也，也，百，也，也，已，致，也，取，也，

五事母年
五事母年